

## 学歴・職歴・研究歴

- 1977年3月 九州大学 理学部数学科卒業
- 1979年3月 同大学大学院 理学研究科修士課程数学専攻修了/1979年博士課程中退/1979年6月九州大学理学部助手
- 1984年4月24日 同大学博士号(理学)(論文博士(乙))
- 1985年4月-1987年3月 Alexander von Humbolt Research Fellow/1987年4月 西ドイツ Universitaet GH Paderbon 助手
- 1987年12月 九州大学理学部助教授/1993年3月 九州大学理学部教授
- 1996年4月 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター教授/2014年 同センター長
- 1991-2009年度 文部省(途中で文部科学省)が始めた国際ヒトゲノム計画に最後まで参加(ゲノム重点、ゲノム特定)
- 2006年10月-2013年3月 「次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発」データ解析融合チームリーダー
- 2010-2014年度 文科省新学術領域研究「システムがん」領域代表/2015-2019年度 「システム癌新次元」領域代表
- 2011-2015年度 HPCI 戦略プログラム 分野1 予測する生命科学・医療および創薬基盤 課題4「大規模生命データ解析 ―生命プログラムとその多様性の理解―」代表
- 2015-2019: 文科省ポスト「京」重点課題2「個別化・予防医療を支援する統合計算生命科学」課題責任者
- 2017-2019: AMED 難治性疾患実用化研究事業「オミクス解析技術と人工知能技術による難治性造血管疾患の病因解明と診断向上に貢献する解析基盤の開発」代表者
- 2018-2023: 内閣府 SIP「AI ホスピタル」サブプログラムディレクター
- 2020: 東京医科歯科大学に M&D データ科学センターを新設。センター長・特任教授就任。医療データ社会還元フレームワークの構築を開始  
これまで、スパコンを駆使したゲノムデータ解析と人工知能応用で個別化ゲノム医療を推進
- 2020-2022: 文科省「富岳」成果創出加速プログラム課題「大規模データ解析と人工知能技術によるがんの起源と多様性の解明」課題代表
- 2020年- COVID-19 関係 AMED プロジェクト分担/コロナ制圧タスクフォースオーガナイザー
- 2023: 内閣府「AI ホスピタル」BRIDGE アドバイザー
- 2024-2025: 内閣府「SBIR(Small Business Innovation Research)」プログラムマネージャー  
— <https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/sbirseido/sbirseido.html>
- Board of Directors of the International Society for Computational Biology (ISCB)、日本バイオインフォマティクス学会会長、神奈川県立がんセンター総長を歴任

## 受賞歴など

- 1994年 日本 IBM 科学賞を「計算の複雑さの理論」で受賞  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/日本IBM科学賞>
- 2013年 “Distinguished Contributions to the Science of Computational Biology”により ISCB Fellow の称号授与 <https://www.iscb.org/iscb-fellows-program>
- 2016年 上原賞「先端ゲノミクスによる癌の分子基盤の解明」京都大学医学研究科小川誠司教授と共同受賞

- 2019年 攻殻機動隊 REALIZE PROJECT 審査員特別賞  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000023213.html>
- 2020年 第16回ヘルシーソサエティ賞(パイオニア部門)を受賞  
<http://www.healthysociety-sho.com/past/2019.html>
- 2020年 東京大学名誉教授
- 2023年度 大川賞(公益財団法人大川情報通信基金)「スーパーコンピュータを活用した全ゲノム解析、がんゲノム研究の先進的な研究」  
<http://www.okawa-foundation.or.jp/index.html>

## その他

- 2002年4月-200年3月年度: 日本バイオインフォマティクス学会 会長
- 2004年-2006年: Board of Directors, The International Society for Computational Biology(国際計算生物学会 理事)
- 2010年度-2014年度: 文科省新学術領域研究「システムがん」領域代表
- 2015年度-2019年度: 文科省新学術領域研究「システム癌新次元」領域代表
- 2017年年度-2019年年度: AMED 難治性疾患実用化研究事業「オミクス解析技術と人工知能技術による難治性造血器疾患の病因解明と診断向上に貢献する解析基盤の開発」研究開発代表者
- 2015年年度-2019年度: 文科省ポスト「京」重点課題2「個別化・予防医療を支援する統合計算生命科学」研究代表
- 2018年-2022年: 内閣府 SIP「AI ホスピタル」サブプログラムディレクター
- 2020年-2022年: 文科省「富岳」成果創出加速プログラム課題「大規模データ解析と人工知能技術によるがんの起源と多様性の解明」課題代表
- 2023年: 内閣府 BRIDGE「AI ホスピタルを実装化するための医療 AI プラットフォームの構築に必要な技術に関する研究開発」アドバイザー
- 2024年-2025年: 厚生労働省 SBIR「AI(人工知能)ホスピタル実装化のための医療現場のニーズに即した医療 AI 技術の開発・実証」プログラムマネージャー